

## 結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の広島県の人口は 2,876,642 人で、前回調査の 12 年に比べ 2,273 人、0.1%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、広島市が 1,154,391 人（県人口の 40.1%）で最も多く、次いで福山市が 418,509 人（同 14.5%）、呉市が 251,003 人（同 8.7%）、となっており、最も少ないのは宮島町の 1,944 人（同 0.1%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 1,390,190 人、女性が 1,486,452 人で、女性が 96,262 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 93.7 から 93.5 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 403,271 人（県人口の 14.0%）、15～64 歳人口は 1,858,849 人（同 64.6%）、65 歳以上人口は 600,545 人（同 20.9%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、0.9 ポイント低下、2.0 ポイント低下、2.4 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 63.2%、女性が 57.8%、未婚率は男性が 29.1%、女性が 21.4%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 27,178 人で、平成 12 年に比べ 4,065 人、17.6%増加している。
- 7 広島県の一般世帯数は 1,131,024 世帯で、平成 12 年に比べ 35,119 世帯、3.2%増加している。また、一般世帯のうち 1 人世帯は 335,788 世帯（一般世帯の 29.7%）と最も多くなっている。  
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.57 人から 2.47 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 673,595 世帯（一般世帯の 59.6%）で、このうち夫婦のみの世帯は 246,673 世帯（同 21.8%）、夫婦と子供から成る世帯は 335,717 世帯（同 29.7%）となっている。また、単独世帯は 335,788 世帯（同 29.7%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 400,015 世帯（一般世帯の 35.4%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 102,571 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 25.6%）、高齢夫婦世帯<sup>（注）</sup>は 118,670 世帯（同 29.7%）となっている。  
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 62.1%で、平成 12 年に比べ 1.2 ポイント上昇している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 93.6 m<sup>2</sup>から 94.4 m<sup>2</sup>と広がっている。

図1 広島県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

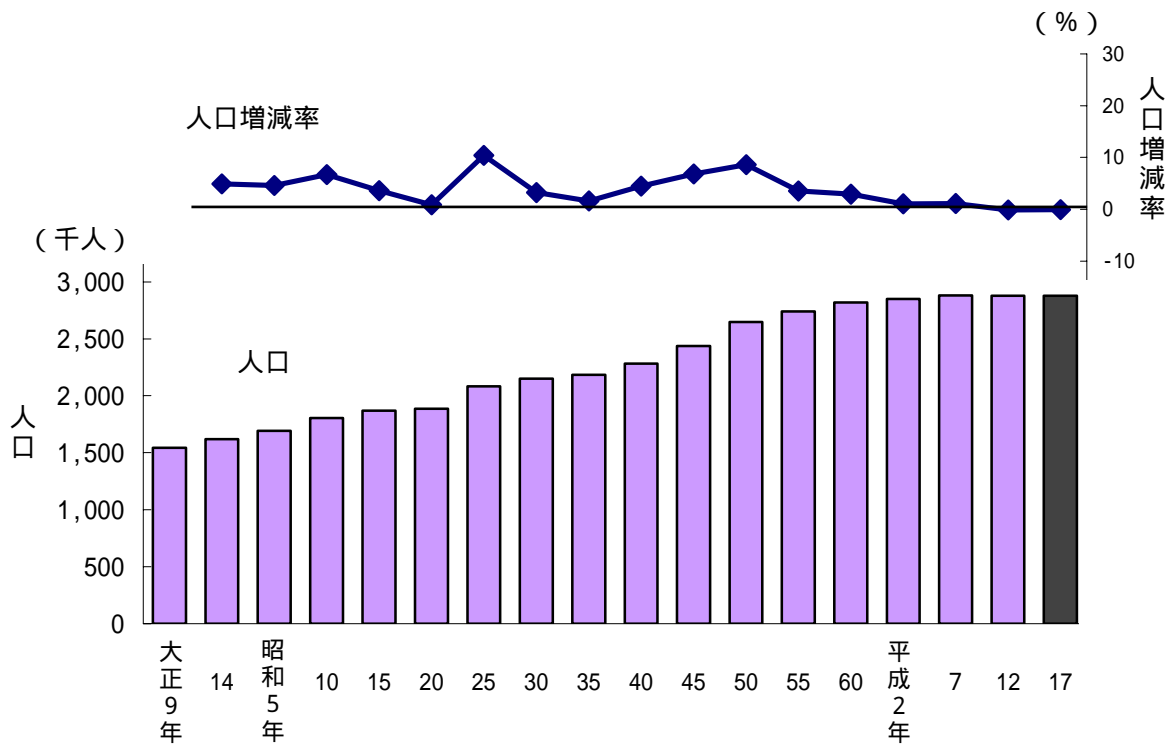


図2 広島県の年齢（各歳）、男女別人口（平成7年・17年）

